



学校だより

平成30年 9月28日
練馬区立田柄第二小学校
校長 谷田 弘子

HP <http://www.tagara2-e.nerima-tky.ed.jp> e-mail info@tagara2-e.nerima-tky.ed.jp

教育目標:元気な子ども・考える子ども・思いやる子ども

No.487

みんなのためのルールブック

校長 谷田 弘子

運動会が明日に迫りました。9月の後半からだいぶ涼しくなり、運動会練習は順調に進んできました。今週はあまり天気が良くなく、寒いくらいです。体調管理に気を遣い、明日は体力・気力を万全にして、運動会に取り組んでくれるようにと願っています。

今年度から各学年が3学級に揃ったので、赤・青・白の三色対抗の運動会となります。各学級、兄弟学年の繋がりが強くなり、きっと盛り上がることでしょう。昨年度と並び方や座席位置、競技のやり方、入退場門の位置などが大きく変更になっています。各学年が工夫をした競技や演技をお楽しみください。

さて、私は、毎日学級を回って児童の様子を見ていますが、どの学級にもみんなで守るべきルールがあります。「けんかをしない」「発表するときはまっすぐ手を挙げる」「ボールは仲良く使う」など、さまざまなルールが決められ、壁に貼ってある学級もあります。

全校で決められているルールもあります。ルールがなかったら、ボールは早い者勝ち、いつも同じ子が使うかも知れません。もちろん、校庭や体育館も高学年や力のある子供たちが独占して使うかも知れません。ルールを守るときは、堅苦しくて面倒くさいと感じる児童も多いと思いますが、ルールがないと、まとまりがなくなって、楽しいことも楽しくなくなってしまいます。

「みんなのためのルールブック」という本があります。この本には、アメリカの小学校のロン・クラーク先生が作った50のルールが書かれています。この50のルールは、子供が生き生きと学校生活を送れるように、社会に出ても充実した人生が送れるようにと願いを込めて作られたものです。

いくつか紹介してみます。

ルール1 大人の質問には礼儀正しく応えよう

ルール2 相手の目を見て話そう

ルール3 誰かがすばらしいことをしたら拍手を送ろう など

「そんなの当たり前だ」と思われるかもしれませんが、日頃の生活を振り返ると意外とできていないことに気がきます。例えば、

ルール1 大人の質問に答えるときには、「はい、そうです。」とか、「いいえ、ちがいます。」というように、いつもきちんとした言葉遣いができているでしょうか。友達言葉で大人に話していないでしょうか。きちんとした言葉遣いで話ができると、大人は話をきちんと聞いてくれるようになります。

ルール2 誰かが話しているときは、その人の目を見て話しているでしょうか。相手の目を見ることは、相手を大切にしていることを表しています。

ルール3 誰かがすばらしいことをしたら、自然に拍手が送れると、認められた気持ちになってとても嬉しい気持ちになります。

まだまだ、この本にはルールがあるのですが、読んでいくうちに、どれも児童のためになることばかりだと分かります。これらのルールには、人を思いやる気持ちが溢れているからです。人を大切にすることは自分を大切にすることにつながります。みんな気持ちよく過ごせるために、ルールのある生活、ルールを守る生活を送ってほしいと思っています。ぜひ、読んでみてください。

10月は、1年の中で最も読書に適した時期です。図書室前には先生方の推薦本が紹介されています。この機会に親子でじっくり読書に親しみましょう。